

清水が丘 学園だより

令和2年3月 第42号

発行
社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団
兵庫県立清水が丘学園
明石市魚住町清水2744
TEL 078-943-0501 FAX 078-943-6598
<http://www/hwc.or.jp/shimizugaoka/>



学園祭 令和元年11月3日

一年を振り返って

参事 塩見 守

2019年度も残すところわずかとなりました。平成から令和に改元、ラグビーW杯日本大会、消費税率10%スタート、東日本の台風大雨被害、沖縄・首里城の焼失など様々な事がありました。

今は新型コロナウイルスへの対応が問題になっています。この3月には、入所児童17名、通所児童9名が学園を去り、新たな世界に踏み出します。まだ公立高校の受験を控えている子どもたちもいますが、当学園でも何とか無事に一年を終えることができるよう対応について検討を重ねているところです。

ところで、子どもにより学園で生活した期間はそれぞれ違いますが、楽しかったこと、辛かったことなど、学園の生活の中でいろいろと感じたのではないかと思います。子ども達は、学園での日課や、デイ

キャンプ、体育会、学園祭などの集団活動を通じて、少しずつ成長しています。学園祭には、多くのOBが来園し、近況や将来の目標を語ってくれました。在園時に担当者からもらったメッセージカードだと見せてくれる子もいました。

家庭や地域で過ごし友達を作り、将来に向かって勉強をしていく本当に大事な時期を学園という場で過ごさざるを得なかった子どもたちにとって、少しでも意味のある、また、退所後も相談に来ようと思える関わりができればと考えています。人の心の本質は人と人の繋がりにから生まれてくるのだと思います。今後も子どもたちと共に育ち続けられる学園であるようにと考えています。